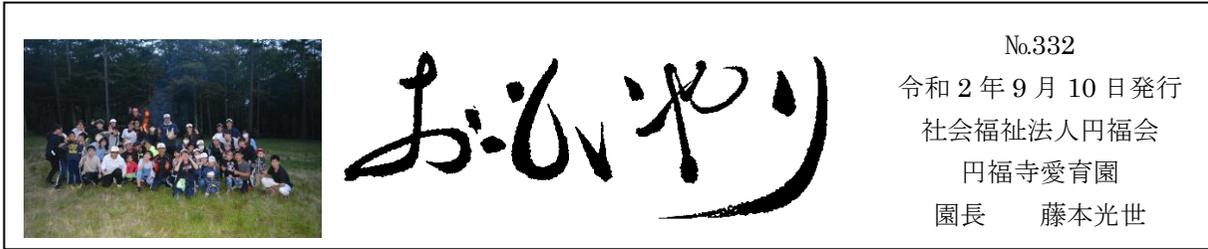


天候に恵まれ、楽しいキャンプになりました。



No.332
 令和2年9月10日発行
 社会福祉法人円福会
 円福寺愛育園
 園長 藤本光世

園長 藤本光世

二学期が始まりました

長野県はコロナの第二波が収まらない中で、二学期が始まりました。

子どもたちは、全員が朝6時に起きて、大きな声でおまいりをし、「はきものをそろえる」を唱和し、食堂では「食前の言葉」を唱え、残さず美味しく食べ、「食後の言葉」を唱えて、日本の国に感謝し、登校しています。

嬉しいことに、9月1日の調査の報告のために振り返ると、一学期は反社会的行動や問題行動は一件もありませんでした。子どもたちが愛育園の生活が楽しいと言い、愛育園の生活に満足していることが、ここに表れたと思いました。

二学期はコロナの感染防止に努めつつ、運動会や愛育園祭の行事に全力を注ぎたいと思っています。子どもたちの一生懸命な姿を見たいです。

新型コロナウイルス感染防止

「経営協」8月号に、広島県の「見真学園における新型コロナウイルス感染症の発生時の対応」が掲載されていました。見真学園は知的障害のある77人が暮らす障害者、障害児入所施設です。この施設でピーク時には施設利用者職員合わせて56名の陽性者が出ました。4/12(日)に体調が悪かった6名が陽性であることがわかってから、怒涛の日々だったとあります。本当に大変だったと思います。

ウイルスの感染拡大を食い止めるために、「隔離や「ゾーニング」といって汚染区域と感染区域を分けることが非常に重要です。」とありました。愛育園の場合は、ゾーニングができるのだろうか。真ん中でつながった中舎制園舎では、ゾーニングは小規模ユニットホームしかありません。感染防止と、万一感染者が出たとしてもその人数をできるだけ少なくすることが重要です。外出時のマスクの着用、職員は外での食事を自粛すること、不特定多数が集まる場(お店など)に行ったときは、車中又は帰園時の手指の消毒、消毒液を使った園内の清拭などまず感染防止に努めています。そして、食事の座席は、子どもの様子を把握するために対面は維持することにしたものの、対面の間隔を2メートルは空けるようにしました。緊急事態宣言の折に行い、解除によって元に戻した座席を、宣言時に戻しました。

子どもたちも職員も毎朝検温しています。こうして、感染防止と、万が一の場合も早期発見と、対応策を周知しておきたいと思っています。

見真学園では、最初に感染が発生してから、全員の陰性を確認するまでに52日間かかっています。更にそこから約1ヶ月は居住エリアを分けた自粛生活を続けています。感染があると約3カ月は日常の生活に戻れません。そして、情報を公開すると施設責任者と事務所の電話が鳴りやまなくなったそうです。施設責任者と事務職員の2人で「不安を与えてしまったのは事実なので、真摯に対応するしかない」と、お詫びをひたすら続けたそうです。とっても大変だった様子が伝わってきました。そして、このような情報を公開していただいたことを感謝しています。

中国新聞 2020年6月16日 火曜日 朝一 171ページ



あの日 一変した日常

障害者施設
見真学園の52日

「組さん、おはよう。おお、みんな元気そうじゃね。拡声器を通して快活な声が響く。広島市佐伯区にある知的障害者の入所施設「見真学園」。施設責任者の男性職員(47)は今も毎朝、利用者と担当職員の様子を見て回る。ただし、建物内には入らない。万が一、拡声器を握り、成人棟に向かって声を掛ける見真学園の男性職員、手を振り返す利用者もいる。(撮影・高橋洋史)

「一を警戒し、屋外から言葉を交わす。4月13日、利用者と職員計7人の新型コロナウイルス感染が発覚し、学園の日常は一変した。園内の感染者は増え続け、58人にまで膨らんだ。障害が重く、入院という環境の変化に耐えられない人もいる。軽症者は園内にどまり、未知なる感染症と闘ってきた。最後まで療養を続けていた利用者4人の陰性が確認されたのは、今月3日。クラスター(感染者集団)は収束し、学園には笑い声と穏やかな時間が戻ってきた。医師や行政も「通常生活に戻っていい」と大賛判を押し、「(ここ)まで来られた。本当にうれし」。男性職員は、手を振り返す利用者の姿に目を細める。

「それでも、あんな体験をしたら慎重にならざるを得ない」と男性職員は言う。園は自粛生活を、また続け

26面に続く

田中美幸子

キャンプ

8/1,2 に戸隠イースタンキャンプ場で、キャンプができました。長い梅雨で、前日まで雨が降り、キャンプ場は当日もお昼まで雨が降っていたのですが、そのあとは晴れて、楽しいキャンプになりました。その様子は、職員や子どもたちの文をご覧ください。とても良いキャンプでした。準備や後片付けをしてくれた先生、子どもたち、ありがとうございました。

愛育園キャンプ

主任指導員 富沢正樹



今年も戸隠イースタンキャンプ場に 1泊2日 で愛育園キャンプを行いました。

今年度がスタートして、初めての大きな行事です。子供たちは例年以上に楽しみにしている様子がありました。

愛育園のキャンプ行事は当日のみならず、キャンプの前日までの準備まで、まるごと入れてキャンプ行事です。テントの部品1

つ1つを確認したり、寝袋 50 個を全部干したり、薪を割ったり、食器や調味料を振り分けたり、班ミーティングで食事のメニューを決めたり、班フラッグを作成したり、準備の段階から、楽しい事や大変な事が次々あって、これを子供達が積極的に行います。これらの準備をバッチリ決めて、当日も大成功に終わる。これが愛育園の行事です。

今年も毎年と同じようにキャンプの準備が始まると、みんな率先して準備をしていました。また、子供たちがより楽しめて、より活躍できるように経験を積んできた先生たちが細かい計画を立ててくれたおかげも感じ、まさに子供と職員と一緒に成長していき、関係を作る場なんだという事を再確認しました。

当日、天気にも恵まれ、事故なく怪我無くキャンプに行って来る事が出来ました。これも愛育園の力だと思います。

食事作りはどの班も凝ったメニューで素晴らしかったです。特にマンガに出てくるような骨付き肉を作った班はとってもインパクトがあって、紙粘土で作った骨がリアルでとてもおいしそうに焼きあがっていました。

キャンプファイヤーでは全員大声で叫び歌い、肝試しは森の静けさの中、背筋が凍る思いをし、日常では感じられない経験を一日の中に詰め込んだようなキャンプになりました。

キャンプ行事の経験から、今年一年の行事全て、みんなで作って大成功させたいという思いが一層強まりました。

結びに、戸隠イースタンキャンプ場のスタッフの皆さん、毎年、愛育園キャンプをさせて頂くにあたって、隅々まで配慮していただき本当にありがとうございました。

愛育園キャンプ

8月1日、2日にキャンプが行われました。今回は休校の影響もあり、子ども達の夏休みが始まった直後のキャンプになり、準備の段階で忙しい日々が続きました。私自身初めて責任者として計画等を係で話し合ったとき、今まで以上に見えない所での準備がたくさんあることに気付きました。段取りをつけることが難しく、ばたばたとしてしまいましたが、先生方や子どもたちのおかげで無事キャンプを行うことが出来ました。当日も雨が心配されていましたが、天気も持ち直し、食事作りからキャンプファイヤーまで全日程を行うことができ、子ども達にとってもとてもいい思い出になったと思います。特に、食事作りでは、子ども達が積極的に「何する?」「私やるよ」と声を掛け合っていて、楽しく作ることができました。私の班は煮込みハンバーグをメインで作りましたが、材料の配分が上手くいかず煮崩れてミートソースになってしまいましたが、味は抜群だったのでそれも良い思い出です。みんなで協力して充実した2日間になってよかったです。

まごころホーム 竹内早季



愛育園キャンプ

あおぞらホーム 山田忍



8月1、2日毎年恒例の愛育園キャンプが戸隠キャンプ場にて行われました。

自分は1班であり木工レクの班長でもありました。子供たちと事前に色々な準備をし、1班のチーム名は「団結アドベンチャー」になりました。皆が楽しみにしているご飯のメニューは1日目の夕食にケバブ、ポトフ、チキン炭焼き、ライスバーガーというメニューになり朝食のデザートにはたい焼きをつくりま

した。1班は男手が少なかったですが火の管理や重いものを運ぶのもとてもよく手伝ってくれたと思います。あおぞらの子たちは事前の準備でもトラックの積み込みやシュラフ干し、テントの組み立てなどの力仕事を積極的に手伝ってくれてとても頼もしかったです。途中雨にも見舞われとても心配でしたが愛育園のパワーで吹き飛ばすことが出来ました。翌日の木工もみんな夢中になって想像力を働かせながら色々な物を作っていたのが印象的でした、釘の打ち方、のこぎりの使い方なども教えながら自分たちなりに色々な木を組み合わせる形にしていく所など発想の豊かさを感じました。

今年のキャンプも無事終わりホットしました、来年も今年より良いものにしていきたいと思っています。

愛育園キャンプ

あおぞらホーム 大山豊彦



8月1,2日と戸隠イースタンキャンプ場で愛育園のみんなでキャンプをしてきました。天候にもなんとか恵まれて、本当に良かったです。

1日目は、みんなが寝るテントや班旗の設置を行い、昼過ぎには開村式を行いました。先生方の出し物をみた子どもたちは早速パーカーJrの真似をしており、とても満足していました。また、各班で考えた夕食メニューもとても美味しかったです。夜に

は、キャンプファイヤーを囲んでレクリエーションをしたり、「栄光の架橋」を歌って盛り上がり、大騒ぎです。その後にはお待ちかねの花火大会と肝試しをしました。花火をしながら子どもたちと交わったり、肝試しで一緒に驚いたり子どもたちとの距離がぐんと近くなった気がします。

2日目は、朝ごはん作りから始まり、私の班では2斤丸ごとクリームチーズトーストやアボカドサラダ、コーンポタージュなど朝からボリューム満点の朝食を頂きました。その後テントなどの片付けをしたのですが、中高生たちがテキパキと動く姿はとても頼もしかったです。

グループ別行動では、木工班に入り、虫を入れる箱を作ったり、ビー玉を転がして遊ぶ板を作ったりして、子どもたちの想像力はすごいなと驚かせられました。

愛育園に来てから初めての大きなイベントで少し緊張していましたが、子どもたちと楽しく元気に全力で楽しめて、最高の2日間になりました。

愛育園キャンプ

まごころホーム 中村茉莉歌

8月の1、2日に戸隠でキャンプをしました。

1泊2日の私には初めて園外でのイベントでした。私は3班で男の子4人、女の子2人職員5人の11人の班でした。

班名は「全力元気」その名の通り全員が元気に全力でキャンプを楽しんでいました。

3班は夕食に『マンガ肉』と言うアニメや漫画に出てくるような、大きな骨付き肉を作りました。骨も紙粘土で手作りをし、その周りに肉を巻いて焼きました。完成したものは大成功でとても美味しかったです。他にもチーズドームキーマカレーや、ケーキ2つ等も作りました。班の高校生の男の子が率先してくれていて頼もしさを感じました。



楽しくて皆で協力しながら作るというのが新鮮でした。

夜にはキャンプファイヤーや花火、肝試しもしました。遠くから聞こえてくる子ども達の悲鳴が怖さを物語っていました。寝る場所は、自分たちでテントを立て寝袋で寝るという人生で初めての体験でした。寝袋は想像より暖かかったです。

2日目にはグループ別行動があり、私は幼児さんたちと巨大シャボン玉を作りました。最初はみんな、上手くできませんでしたが、何回もやるにつれて自分なりのやり方で上手にシャボン玉を作っていました。後半からは飛んでいるシャボン玉を壊すのに夢中になっていました。とても楽しかったです。

初めて体験することや上手くできたときの喜びの共有が出来、怪我も事故もなく子ども達と充実した2日間を過ごせました。



愛育園キャンプ あおぞら 児童感想

8月1日土曜日にキャンプに行きました。ぼくは最初にテントを立てました。次に旗をつるしました。つるした後にお昼でした。お昼に食べたものは、きゅうりとおにぎりとおたまごです。おいしかったです。ごちそうさまをしたら、旗の発表をしました。次に夕ご飯の用意をして作りました。おいしく食べれました。次にキャンプファイヤーをやりました。とても熱かったです。次に肝試しをやりました。とても怖かったです。楽しいキャンプでした。



(小3・T君)

8月1日、2日に戸隠キャンプに行きました。夜ご飯を作る時、全然火がつかなくて大変でした。夜ご飯はトマトのマリネとなんちゃってビビンバでした。とてもおいしかったです。また行きたいです。

(小4 H君)

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

8月の1日、2日にキャンプに行きました。ぼくは、五班でした。夕飯作りでぼくは火おこしをしました。そしてお米を炊きました。夕飯はハンバーグを作りました。とてもおいしかったです。そして夜になって花火と肝試しをしました。花火はいろんな種類があってとてもきれいでした。肝試しは去年と一緒に全然平気でした。朝になって、朝食を作りました。朝食はサンドイッチを作りました。おいしかったです。また行きたいです。



(小5 K君)

戸隠キャンプ まごころ児童感想



今年のキャンプは8月1～2日に行いました。今年初めて石崎先生と同じに班になることができました。とっても嬉しかったです。班名は、Sun Rise～11人で創る最高の思い出～になりました。1日目は学校だったので、途中から参加しました。夕飯はチーズフォンデュ・ビビンバ・ヤンニョムチキンなど、たくさんのメニューを作りましたが、すごくおいしかったです。そして、夕飯が終わった後にキャンプファイヤーと肝試しをしました。私はキャンプファイヤー係だったので人一倍大きな声で盛り上げました。皆が楽しんでやってくれたのがすごく嬉しかったです。2日目はグループ別行動をしました。私は川遊びを選びました。川はとてつもなく冷たいけれど、それ以上に楽しいので大好きです。たくさん遊べて良かったです。

けれど、これで最後のキャンプとなってしまいました。また来年も皆とやりたいし、もっと遊びたい気持ちがあるのですごく寂しいです。でも、まだ行事はたくさん残っているので一つ一つを大事にし、いい思い出が残せたらいいなと思います。そして、このキャンプを計画してくれた先生たちにしっかりと感謝したいです。

(高3・Yさん)



8月1～2日にキャンプに行きました。朝は晴れていたけど、バスで向かっている途中に雨が降ってきて大丈夫かなと思ったけど、だんだん晴れてきてよかったです。キャンプ場に到着すると荷物を降ろしたり、テントを張ったりしました。いつもより人数が少なかったけど、協力してできたのでよかったです。その後は開村式をしました。今年もとても面白かったです。頑張りたいこともしっかり発表できてよかったです。夕食作りでは玉ねぎと人参のみじん切りをしたり、スポンジ

(令和2年9月10日発行 月刊「円福」480号付録)

に生クリームを塗ったりしました。後片付けもしっかりできました。グループ別行動では、奥社ウォーキングにしました。1時間半で行って帰って来なくてはいけなくてとても大変でした。話したり、写真を撮ったりしながら行ったので、とても楽しかったです。でも最後に長い階段があり、とても疲れました。しっかりお参りもできたのでよかったです。天気も良くてとても楽しい2日間になりました。



(中3・Aさん)

児童二学期目標作文 あおぞらホーム

2がっきがんばりたいこと

ぼくは、さんすうとこくごをがんばりたいです。あとは、じかんをまもりたいです。あとは、まいにちげんきにがっこうにいきたいです。しょくじのときしせいをよくしてたべます。がんばります。

(小1・Y君)

二学期の目標

二学期の目標は、三つあります。一つ目は、学習です。特に算数です。理由は、国語・社会・理科は得意だからです。でも算数は苦手だからです。なので二学期は、苦手な算数を、得意にしたいです。二つ目は、学校の決まりを守る事です。理由は、一学期たくさん一年生の教室に行ったり、クラスで学習のじゃまをしたりしたことです。なので、二・三学期は、一年生の教室に行ったり、学習のじゃまをしないようにしたいです。三つ目は、愛育園の生活で6時5分までに、談話室に行くことです。理由は、一番に談話室に行くことを、一学期に決めたからそれ続けていきたいからです。

(小4・S君)

一学期の反省と二学期の目標

一学期の目標は学校に毎日行くことと、提出ノートを出すことと、お参りで大きな声を出すことでした。学校には毎日行けていて、提出ノートはいつも出せていて、お参りの声出しでは、出せる時や出せない時もあります。

二学期の目標は、二学期の中間テストで200点取ることです。一学期では、コロナの為、中間は中止になり、期末テストでした。期末テスト一週間前からテストに向けての勉強でした。どんどんと少なくなって行って、テスト当日には緊張したけど勉強したことを出しきったけど、結果は174点だったからです。

二つ目は部活の事です。今は仮入部中です。本格的に始める為に頑張っていきたいです。その為にお参りの声出しや、挨拶とか普段の生活をしっかりやり応援してもらえるようにすることです。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

三つ目は漢字がとても苦手なので、漢字をたくさん覚えることです。三年生からの漢字がいまいちなので覚えられるようにしたいです。その三つの事を頑張っ、楽しい二学期に出来るようにしたいです。

(中1・S君)

二学期目標

- ①せいいりせいとんをきれいに毎日きたなくなったらまたせいいりせいとんをする。せいいりせいとんは忘れ物が多いからへらしていくとたなもきれいにする。
- ②園の生活でおまいりときしょうをしっかり小学生のお手本になるようにする。おまいりの声を大きくすると、きしょうがいつもおけているので早くおきる。
- ③中学校に向けて漢字をがんばって読み書きをおぼえる。今は、読みと書きををがんばってれんしゅうをしている。中学校はいろいろのきまりがあるのでそれをおぼえていきたい。

(小6・R君)

児童二学期目標作文 まごころホーム

私の2学期の目標は3つあります。まず一つ目は、大きな声であいさつをすることです。一学期は自分から進んであいさつができませんでした。大きな声であいさつをすると、朝から気持ちがよくなると思います。だから、自分から大きな声であいさつをしたいと思います。

二つ目は・お参りです。一学期、お参りの時に小さい声でしていたので、まいにち誰よりも大きな声でお参りをしたいです。

三つ目は、正直な心をもつことです。なぜかという、一学期のころ、先生とお話している時に、うそをついてしまったからです。うそをつくと人を悲しませたり、周りから相手にされなくなるとお話をしました。正直に言うみんなに信じてもらえたり、おうえんをしてもらえらると思います。だから、何かあった時は、正直にお話をしたいです。

あと、ごめんなさいとありがとうを言えるようにしていきたいです。この3つを二学期がんばっていききたいと思います。

(小6・Tさん)

私が2学期の目標にしているのは、志望校合格です。2学期中には入試があります。一学期、頑張ってきたおかげで指定校の枠に入る事ができました。そのため、私が2学期頑張っていきたいことは、普段の学校生活です。指定校の枠には居れても行動がしっかりしていないと落されてしまうので、まずは授業を頑張っていきたいです。具体的には、発言です。現在も発言は頑張っていますが、それ以上に今後頑張っていきたいと思っています。

(令和2年9月10日発行 月刊「円福」480号付録)

他にも、学校行事を積極的にやりたいと思っています。

そして、園で頑張りたいことは、行事です。2学期には運動会や愛育園祭などの行事がありますが、それも全て最後になってしまいます。ですが、運動会では、まずマラソン1位をとりたいたです。そのため、平日のマラソン練習では毎回ベストがでるよう、全力で走りたいと思います。

愛育園祭では、書道パフォーマンスを頑張りたいです。今年は大文字を書くので今まで以上に練習を頑張っていきたいと思っています。この2つの行事でも積極的に動きたいと思います。

そして、卒園まで残り7ヶ月と迫ってきています。一学期、当たり前の事が当たり前に出来るようになりたいと書きましたが、まだ出来ていない部分があります。なので、それは続けていくと同時に、もっと成長できるよう努力していきたいです。2学期もがんばりたいです。

(高3・Yさん)

地蔵盆

あおぞらホーム 山田忍

8月22日地蔵盆がありました、地蔵盆は西横田地区のPTAの小中学校の行事なのですが実際に愛育園で準備してくれるのは毎年高校生の子たちです、今年も日中の猛暑の午後後の時間をほとんど使って高校生たちが準備をしてくれました、提灯の飾り方や机の配置などみんな手慣れたもので無駄なく準備してくれました、しかしホッとしたのもつかの間で開始前になり雨と雷がひどくなってきて急遽体育館で執り行うことになりました。急な変更で時間が全くない中で中高生たちはあつという間に体育館のセッティングを済ませてくれて本当にびっくりしました。あいにくの大雨で地区の方が誰も来てくれないと思っていましたが雨の中足を運んで下さった方もいて安心しました。昨年より人数は少なかったですが皆の協力のおかげで無事に終わることができました。



お盆行事

あおぞらホーム 石龍成己



8月14日、今年もお盆行事を行いました。例年ですと、海に行ったり、遠方へと出かけていますが、今年はコロナにも注意をし、お昼はマクドナルドのハンバーガーをテイクアウトして園でとり、午後はマスク着用、消毒徹底の上、ボーリングに行きました。私は、小学生のレーンに混ざって一緒にプレイしました。小学1年生の子も増え、ボーリング初体験の子たちもいましたが、さすが男の達は投球を補助してくれる器具を使わず最後まで投げ込みました。ゲームは3ゲーム行いました。高校

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

生の中では1ゲームで150点を超える子も出てきました。ストライクやスペアが出るたびに、みんなとても喜んでいました。なかなか自粛で外で遊べない中、久しぶりにリフレッシュできる1日になったかなと思います。

あおぞらホームだより



あおぞらホーム 畔上裕吾
新型コロナウイルスの影響で、例年にはない短い夏休みとなりました。夏休み最初のイベントとして、愛育園では毎年恒例となっている戸隠キャンプに行ってきました。子どもたちが率先してお手伝いをしてくれたことで、準備もスムーズに行うことができ、大いに盛り上がるキャンプとなりました。短い期間ではありましたが、川遊びや山へ昆虫採集に行ったり、プールに行ったり、お盆にはお楽しみ企画として花火をしたり、

ボーリングに行ったりと充実した夏休みになったのではないのでしょうか。コロナ禍ということもあり、外出の際にはマスクをして感染予防に努めながらの夏休みではありましたが、2学期も引き続き、外出時のマスクや園での検温、消毒など感染予防に努めながらの生活に変わりはないかと思えます。

連日厳しい暑さが続いています。短い夏休みも終わり、早くも長い2学期がスタートしています。2学期が始まるに伴い園では、子どもたちが2学期の目標を立て、作文を書ってもらっています。子どもたちそれぞれの目標があり、「挨拶を大きな声でする」や「勉強を頑張りたい」など様々な目標が作文には書かれていて具体的な目標も多く書かれていました。長い2学期ではありますが、子どもたちがそれぞれの目標に向かって頑張れるようサポートしていきたいです。

まごころホームだより



まごころホーム 宮澤穂香
新型コロナウイルスの影響で今年の夏休みは、例年と比べ日数が少なく、そんな中で、いつも通りの夏休み帳や課題が出されていました。小学一年生は、学校から持ち帰ってきた朝顔を毎日観察したり、中高生は進学に向けての準備をしていました。

夏休みに入った途端、連日厳しい暑さが続きました。いつもなら、プールに行き泳ぐこともできましたが、今年はそれが叶いませんので、近くの公園の噴水で水遊びをしました。みんな全身びしょ濡れになって楽しんでいました。幼児さん達にも、園でプールに水を張り、水遊びを

(令和2年9月10日発行 月刊「円福」480号付録)

してもらいました。顔を水の中につけられるようになったのを自慢げにみせてくれた幼児さんもありました。

短い夏休みでしたが、怪我や体調を崩す子ども達もなく、楽しく過ごせてよかったと思います。少しでも子ども達一人ひとりの夏の思い出になっていければいいなと思います。

調理室だより

調理員 大下はる江
8月の梅雨明けとともに暑い日が続いています。熱中症、コロナ対策には良い食事と良い睡眠に効果があるようです。

調理では、栄養士献立のもと良い食事に力を注いでいます。

愛育園の畑で採れたトマト、ナスで夏野菜カレー、きゅうりでキムチ、オクラでネバネバ和え、朝食に自家製の梅干しを食べて元気一杯に過ごしています。

お盆には名人に作り方を伝授して頂いたおやきを採れたての丸茄子で作りました。

大人になってお盆を迎えた時に愛育園のおやきとして懐かしく思い出してくれたらうれしいです。

8月は4名の子ども達が誕生日を迎えました。それぞれリクエストでカツ丼・オムライス・豚キムチ丼・赤飯・スペシャルデザートを心を込めて作りました。

